

令和5年度全国中学校体育大会 第53回全国中学校バスケットボール大会・審判研修会  
参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和6年度全国中学校体育大会 第54回全国中学校バスケットボール大会・審判研修会
●日程	令和6年8月22日 (木) ~ 令和6年8月24日 (土)
●会場	シティホールアオーレ長岡・長岡市市民体育館・長岡市北部体育館 長岡市中之島体育館・三条市体育文化会館(以上、本大会)・自宅他(審判研修会)
●講師	加藤 暁生様 市川 雄介様 小出 聡子様 伊藤 睦哲様 尾形 美樹様 古畑 咲 様 山田 依美里様 山本 雄大様(審判研修会:福岡IH担当講師含む)
●スケジュール	2024/7/25・29 (木・月) 審判研修会(会場:自宅他・オンライン・福岡IHとの合同研修会) 7/25(木)講師:福岡IH担当講師 19:00 挨拶 JBA審判委員会審判委員長・本大会審判委員長 前田 喜庸様 福岡県協会専務理事 井手口 孝様 研修1 研修テーマ設定・合同研修会の趣旨について(講師:塩谷 禎様) 研修2 コール・ザ・オヴィアス ~コール・ザ・インパクト ベーシックなプレーコーリング~(講師:村上 恵美様・古畑 香子様) 研修3 ペイシエント&ケイデンス ~3POメカニクスを高めていくために~(講師:平出 剛様・岩井 遥河様) 本研修のまとめ(講師:塩谷 禎様) 開催地福岡県より諸連絡(福岡県協会和田審判副委員長)  7/29(月)講師:新潟全中担当講師 19:00 挨拶 JBA審判委員会審判委員長・本大会審判委員長 前田 喜庸様 新潟県協会審判委員長 阿部 暢史様 研修4 研修テーマ設定・審判員行動規範について(講師:加藤 暁生様) 研修5 処置ミスゼロに向けて ~クルーでの取り組み~(講師:市川 雄介様・山本 雄大様) 研修6 処置ミスゼロに向けて ~TOとの連携~(講師:尾形 美樹様・古畑 咲様) 本研修のまとめ(講師:加藤 暁生様) 開催地新潟県より諸連絡(新潟県協会阿部審判委員長)

●担当試合	令和6年8月22日 (木) ~ 令和6年8月24日 (土)						
	各自担当試合の時間にあわせて集合(3日間とも9:30第1試合開始)→輸送バス・徒歩等で移動						
	令和6年8月22日 (木) 10:50 ~ 男子予選リーグ 会場: シティホールアオーレ長岡						
	対戦カード	金沢学院大学附属中学校(石川県)			VS	松山市立久米中学校(愛媛県)	
	主審	CC	石川 淳也	U1	佐藤 泰幸氏(新潟県)	U2	澤田 大地氏(富山県)
	講師/主任	加藤 暁生様(JBA本部・JBAU15担当)					
	講評	<p>・両チームの力の差が大きく、大味なゲームとなったが、リーグ戦ということもあり、最後まで丁寧に判定を積み重ね、プレーヤーの技術で決着をつけることができたと感じる。クローワークも良く、それが判定にも結びついており、ゲーム全体も大きな問題・トラブルなく、ゲームを無事に終了できたことが良かったと思う。</p> <p>・クロック管理もクルーで意識して、1回時間(オールタイマー)が流れたが、マジックタイムを持ち、対応も適切であった。</p> <p>・1試合通して、判定に大きな問題はなかったが、本大会の研修テーマである「ペイシエント・ケイデンス」という観点からみると、少し課題が残った。</p> <p>①プライマリ・セカンダリの理解…ダブルコールの際に誰がコールした方が良いのか？ プライマリエリア・アングルやファールの事象(ファールコールした時のOFF・DEFのポジショニング等)をふまえてコールをしてほしいケースがあった。</p> <p>②ペイシエント…ジャストでコールをしていたケースもあったので、プレイを分析してコールをしていた方が良いケースもあった。 (ダブルコールも防げる要素になる。)</p>					
	自己の感想	<p>・両チームにとっては、予選リーグの初戦となり、点差が開いてもリーグ戦なので得失点差も関係する要素があったゲームであった。クルーの協力で全体的にはチーム・TO・クロック管理も含めて大きなトラブルもなく、ゲームを無事に終わらせたと感じている。</p> <p>・キープレーヤーへの対応に神経を遣ったが、クルー全体でキープレーヤーにコミュニケーションを取り、フラストレーションをためさせないように対応できたと思う。</p> <p>・研修会テーマである「ペイシエント・ケイデンス」については、クルーとしても私自身も課題があった。私自身もクイックホイッスルやクルーのプライマリでクルーがペイシエントでコールしているものを私がセカンダリの意識でコールしてダブルコールになるケースもあった。私自身のプレーを分析してコールすることやクルーを信用してコールを待つことが今後の課題である。</p>					

令和6年8月23日 (金) 12:10 ~		女子決勝トーナメント1回戦		会場:長岡市市民体育館	
対戦カード	天草市立本渡中学校(熊本県)		VS	春日部市立豊野中学校(埼玉県)	
主審	CC	石川 淳也	U1	有坂 明子氏(栃木県)	U2 北島 和明氏(佐賀県)
講師/主任	石河 宏美様(福島県)				
講評	<p>・試合も緊迫した展開となったが、常にクルーで情報共有しながら、1試合通してクルーで判定を積み重ねることもできて、クルー全員で試合運営ができたことが良かった。</p> <p>・ゲーム序盤からプライマリから笛が入ることが多く、テンポセットとして両チームにメッセージが伝わったことがスムーズなゲーム運営につながったと感じる。1試合通してほとんどダブルコールがなく、プライマリの理解を含めてクルーワークがとても良かった。</p> <p>・その要因として、ローテーションのタイミングがとても良かった。両チームのキープレイヤーや特徴・戦術等をふまえて、スイッチするのか、クローズダウンにとどまるのかの判断がクルーとしてゲームにフィットしていたので、ほとんどがプライマリからの判定につながっていた。</p> <p>・タップショットのプレーでCからケイデンスしてコールしたのもGoodCallで、タイミングもとても良かった。2Qの終盤でEOQを迎えようとしていた時間だったので、ゲームフローの観点からも効果的なコールであった。</p> <p>・TOとの連携を意識するが故に、ゲームのテンポが少し遅いように感じたことが少しもったいなかった。スムーズに進める所と時間をかけるべき所の精査の意識を持ってほしい。</p>				

	<p>自己の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会での内容をベースに、メカ・プレーコーリング・ポジションアジャストに重点をおいでPGCを行った。石川と北島氏は前日男子ゲームだったので、前日女子ゲーム担当の有坂氏に情報をいただきながらチームのスカウティングを行い、チームのキープレーヤー・プレースタイル等のチーム情報も共有して試合に臨むことができた。</li> <li>・昨日の反省を生かし、特にプライマリ・ペイシエント&amp;ケイデンスを意識して、昨日の反省点はある程度修正できたと感じている。緊迫した試合展開であったが、大きなトラブルなくゲームを終了することができたことは良かったと思います。</li> <li>・1回だけトリプルコールがあって、私が必要のないコールであった。プライマリや自分自身のメンタルの状況が周囲に伝わっていたと感じさせてしまったことは反省である。CCとしてもゲームフローやクルーの状況を見て、いつ・どのような状況でも対応できるような懐の深さを持つことが課題である。</li> </ul> <p>・研修会、本大会を通じて、改めてベーシックの理解と徹底が必要だと感じました。日頃から頭では理解してもオンザコートで適切に適用できるように、研修会でもあった「TRY &amp; ERRORで身につけること」を意識して、今後の審判活動にも積極的に取り組み、研鑽を積んでいきたいと思います。</p> <p>・本大会で自分の力量やCCとしてクルーの力量を発揮できることはある程度できたことは大きな収穫でした。ただ、研修会のテーマである「ペイシエント&amp;ケイデンス」に課題も残りました。これは私の課題でもある「ゲームコントロール」に直結しています。今後の審判活動の中で課題克服に取り組んでいきます。</p> <p>・本大会開催にあたり、JBAU15担当加藤様・講師のみなさま・開催地新潟県のみなさまには、ご準備から研修会・本大会の運営と本当にお世話になり、ありがとうございます。また、昨年に引き続いての全中派遣で全国のみなさまとお会いして交流できたことや本大会の審判を担当することができ、新たな発見・学びの場となりました。改めて感謝申し上げます。</p> <p>・最後になりましたが、派遣に関してご高配を賜り、貴重な経験をさせていただきましたことを、細見委員長をはじめ、大阪府協会審判委員会のみなさまに改めて感謝申し上げます。</p> <p>この貴重な経験を今後の審判活動に生かし、S級昇格を目指して審判活動に取り組んでいきます。今後とも、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。本当にありがとうございました。</p>
--	--------------	--